

La Estación

ラ・エスタシオン

スペイン語で、局や駅の意。当誌が県内の国際交流・協力情報の発信地として、広く親しんでいたいただけるようお願いを込めてつけました。

Event Calendar 1

12~1月

大分の国際交流団体の紹介.....2

日本ニュージーランド協会 大分支部

JICAデスク大分からこんにちは.....2

「おおいた地球市民リーダー養成講座」

私たちの声を聞いてください!.....3

立命館アジア太平洋大学インターンシップ生

おおいた国際交流プラザより.....3

「大盛況のおおいた国際フェスタ」



プラザのカウンセリング・各種相談のご案内

中国語無料相談

毎週木曜日
時間：10：00～13：00 会場：国際交流プラザ
予約：不要 相談料：無料
相談員：兒玉 文玉 (こだま うんゆう)
※県内在住中国語圏の方のための無料相談です。

タガログ語無料相談

毎月第1土曜日と第3火曜日
時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ
予約：不要 相談料：無料
相談員：吉武 ロドラ (大分県フィリピン友好協会 会長)
※県内在住フィリピン人の方のための無料相談です。

在住外国人のための無料相談

毎月第3水曜日
時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ
予約：不要 相談料：無料
※ただし、日本語、英語以外による相談は、通訳手配のため、2日前までに要予約。
相談員：伊藤 精 (行政書士)
※県内在住外国人の方のための無料相談です。

入国・在留国籍手続無料相談

毎月第1日曜日
主催：外国人 Life Support 時間：13：00～16：00
会場：国際交流プラザ 予約：必要 相談料：無料
対応言語：日本語・英語
※主として法律相談ですが、それ以外の内容でもお困りの場合はご来館ください。また、相談内容が外にもれることはありません。お知り合いの外国籍の方がトラブルや悩みを抱えている場合には、その方にぜひお伝えください。

在住外国人のための無料健康相談

偶数月第3火曜日
主催：大分県済生会日田病院 時間：14：30～15：30
会場：国際交流プラザ 予約：不要 相談料：無料
○健康が不安、どこに相談すればいいの？
○体調が悪いけど、医療費の支払いが心配。
県内在住外国人で、低所得(住民税非課税世帯等)の方、失業等による急な所得低下の方、DV被害の方、医療費にお困りで病院を受診できない方、医療や福祉に関する相談など、ぜひご利用ください。
※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。



DEC

4日(木) 中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場：国際交流プラザ

6日(土) タガログ語無料相談

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ

6日(土) 多文化子育てサポーター養成講座

おおい国際交流プラザは、外国人に日本語を教える「日本語ボランティア」の登録・紹介をしています。

そのボランティアを対象とした、日本語指導スキル及び外国にルーツを持つ子どもや保護者たちへのサポート方法の習得を目的とした講座を開催します。ご登録者はぜひご参加ください。

なお、今後登録したい、日本語教師資格保持者、日本語ボランティアとして定期的に活動している方(半年以上の経験必須)のご参加も可能です。

時間：14:00～15:30 会場:iichiko総合文化センター【4階】中会議室1
対象:おおい国際交流プラザの日本語ボランティア登録者及び希望者
参加費:無料 ※要申込(締切り:11月28日(金))

7日(日) 入国・在留国籍手続無料相談

時間：13:00～16:00 会場:国際交流プラザ

11日(木) 中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場:国際交流プラザ

16日(火) タガログ語無料相談

時間：13:00～16:00 会場:国際交流プラザ

16日(火) 在住外国人のための無料健康相談

時間：14:30～15:30 会場:国際交流プラザ
※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。
お問合せ:大分県済生会日田病院 TEL 0973-24-1100

17日(水) 在住外国人のための無料相談

時間：13:00～16:00 会場:国際交流プラザ

18日(木) 中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場:国際交流プラザ

25日(木) 中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場:国際交流プラザ

JAN

8日(木) 中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場:国際交流プラザ

10日(土) タガログ語無料相談

時間：13:00～16:00 会場:国際交流プラザ

15日(木) 中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場:国際交流プラザ

17日(土) 国際理解講座①(イギリス編)

時間：14:00～16:00
会場:iichiko総合文化センター【4F】中会議室1
講師:ミリアム スターリング(大分県国際交流員)
予約:不要 参加費:無料

内容:大分県の国際交流員ミリアム スターリング氏をお迎えし、知っているようで知らないイギリスの魅力や故郷についてお話をさせていただきます。

20日(火) タガログ語無料相談

時間：13:00～16:00 会場:国際交流プラザ

21日(水) 在住外国人のための無料相談

時間：13:00～16:00 会場:国際交流プラザ

22日(木) 中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場:国際交流プラザ

29日(木) 中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場:国際交流プラザ

大分の国際交流団体の紹介

「日本ニュージーランド協会大分支部」

■「日本ニュージーランド協会大分支部」をよろしく！

東京に本部のある日本ニュージーランド協会は、戦前日本で初めてニュージーランドに留学した川瀬勇博士とニュージーランド大使館関係者で創立された友好団体です。日本で一番古い友好団体で、創立55年になります。

東京で副会長を歴任し理事をしている代表が、大分県にUターンしたことをきっかけに、2014年4月19日大分支部を設立しました。

■設立目的

日本とニュージーランドの友好とビジネスの展開を目指しています。支部長の別宅がニュージーランド南島のクライストチャーチにあり、次男夫婦が永住権を取って住んでいるため、大分とクライストチャーチの交流を中心として活動しています。

■ニュージーランドの魅力は？

ニュージーランドは、面積が日本の約7割、人口は440万人。羊は人口の20倍と決定的に人間が少ない国です。第一の魅力は、やはり自然の雄大さです。人間の手の加えられていない素晴らしい自然がまだまだ残っていて、国を挙げて自然保護に取り組んでいます。しかも治安が良く、日本と同じ安全な国の一つです。また、政治的にも経済的にも安定しています。人種差別がなく、日本人に対しても良い印象を持っています。自然の恵みに裏打ちされた国民の気質は非常に穏やかで、生活の豊かさ、人間の豊かさとはこういうものかと実感することができる国です。

- 支部長 麻生 敏子
- TEL 080-3307-0383
- FAX 097-507-4398
- ホームページ <http://www.nzsj-oita.jp/>
- facebook 「日本ニュージーランド協会 大分支部」

■近年の活動内容と今後の活動予定

【近年の活動内容】

- 2013年12月 シニア対象のライフスタイル提案セミナー
- 2014年4月 ニュージーランドワインパーティー
- 2014年8月 会員親睦バーベキューパーティー
- 2014年9月 ニュージーランドセミナー&ワイン試飲会&ジャズコンサート(おおいた国際協力啓発月間参加)
- 2014年10月 「おおいた国際フェスタ2014」ブース出展

【今後の活動予定】

- ・セミナー(ニュージーランドの永住権を持っている方や在住経験のある方からの体験談、ニュージーランド最新情報)
- ・ワインパーティー、ニュージーランド式バーベキューパーティー
- ・ニュージーランド製品の物販
- ・個人・グループ旅行のアドバイス、コーディネート等



大分支部創立ワインパーティー



バーベキューパーティー



大分県から派遣されている青年海外協力隊(20歳から39歳まで)は14名、シニア海外ボランティア(40歳から69歳まで)は3名、合計17名の方々が活動しています。それぞれアジア、アフリカ、中南米、大洋州の16か国で活躍中!(2014年11月4日現在)

【「しらしんけん」おおいた地球市民リーダー養成講座in竹田】

9月27日(土)と28日(日)の2日間、1泊2日の合宿型公開講座を開催しました。地球全体のことを考えて行動できる人間、「地球市民リーダー」になろう、を目的として、国際理解ワークショップ、青年海外協力隊体験談、アフリカのスポーツ「クバーラ」など、参加型学習を盛り込んだイベントとなりました。JICA九州と大分県立芸術文化短期大学との共催で、会場は大分県立芸術文化短期大学竹田キャンパス。

参加者のほとんどが初対面の人同士だったので、まずはアイスブレイクから始まりました。自分が外国人だとしたら?言葉が通じなかったらどうなる?という言葉制限された状態や、通じない状況を体験しながら、コミュニケーションを取っていきました。

国際理解ワークショップは、「水を通して考える『私たちと世界』」、「ケータイを通して考える世界と私たちのつながり」、「先住民族 アイヌと私たち」を行いました。また、大分県出身・在住の青年海外協力隊5名による体験談発表もあり、「青年海外協力隊に行こうと思ったきっかけは?」「苦勞したこと、やりがいを感じたことは?」「病気になるたらどうするのですか?」など、質疑応答形式で5名の隊員経験者がお答えしました。アフリカのマダガスカルルスポーツ「クバーラ」も体験し、道具の必要のない一見簡単なゲームでしたが、点を取れたチームは1チームのみ。

協力し合いゲームを進めることの大切さを学んでいたようです。

講座全体のふりかえりでは、8歳の日本の子どもケンとコンゴのニトが『違い』について会話をする短編アニメーション「NINJA&SOLDIER」を上映し、この講座を振り返った後、「地球なる木ー世界のために、私たちができることー」のメッセージを作成し、これから自分が「地球市民リーダー」として、どのように行動していくべきかを考え、宣言しました。

みなさん、地球市民として自分に出来ることは何でしょうか?是非考えてみてください。きっかけが欲しい方は、次回の「おおいた地球市民リーダー養成講座」にご参加ください!



「富の分配」ワークショップ



先住民族アイヌの歴史を体験するワークショップ



おおいた地球市民リーダーのみなさん



国際協力推進員 渡辺了孔
〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター地下1階 おおいた国際交流プラザ内
TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052 E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp
JICA九州Facebookページ <https://www.facebook.com/jicakyushu>

よりよい明日を 世界の人々と



わたしたちの声を聞いてください！

9月16日から10日間、立命館アジア太平洋大学（APU・大分県別府市）の学生3人がインターンシップでプラザにやってきました。期間中行ったプログラムの一つ「機関誌の執筆・校正体験」で作成した文章をここで掲載！3人の個性豊かな文章をご覧ください♪



左から 橋本さん、周さん、ニチャーラックさん

「日本に来て感じたこと」 周 鹿敏(中華人民共和国)

初めて日本に来て、あっと言う間に3年が経ってしまいました。この間に体験したことは私にとって一生忘れられない出来事になるだろうと思います。

大分に初めて到着し、青い空や広い海、綺麗な街並みを見た時、私の目はそれらに釘付けになってしまいました。それ以来、ずっと大分に住みたいという気持ちになっています。路地を歩く時、商店街で買い物をする時、どこでも誰もが私に本当に気軽に挨拶をしてくれ、心から感動しました。そして、やはり日本は心の先進国だと感じました。このことから、今まで以上に気軽に挨拶をする事が私の習慣になりました。さらに感動した事は、日本人の仕事に対する生真面目な態度です。店員さんやバスの運転手さんなど誰もが礼儀をわきまえ精一杯に取り組んでいます。

また、おもしろい出来事もたくさんありました。特におもしろかったのはトイレの「音姫」です。トイレで、突然に鳴り始めた音に私は驚きました。当時の私は「音姫」の機能が何かを理解出来ず、音を止めようと何度もボタンを押し続けました。今思い出しても、あの時の自分は本当に滑稽で、恥ずかしく感じます。後日、同じ経験をした友達の話を書くにつけ、皆同じなんだと安堵する今日この頃ですが、おかしなことに今や私たちには「音姫」なしの生活など考えられなくなってしまいました。

このように、私は日本の文化や習慣を数々体験する中で、すっかりそれらに慣れ親しみ、今ではとても貴重な思い出となっています。誰もが外国に来れば、自国の文化だけでなく外国の文化習慣についても真摯に学ぶ必要があると強く感じた次第です。

「郷に入っては郷に従え～留学生の皆さんへ～」

習慣とはその国やその地方の人々の間で、日常に行われる物事の方法です。それはその国の生活や考え方により異なります。留学生は留学国において、その国の言語だけでなく習慣やマナーを学び、それに従うべきだと思います。なぜなら、その国の習慣やマナーが分からないと、相手を誤解したり、逆に誤解されてしまうことがあるからです。

例えば、日本ではあまり親しくない人の名前を呼ぶ際、必ず名前の後ろに「さん」を付けなければ失礼になると考えています。このような場合、呼び捨てにされ失礼だと感じ誤解されてしまいます。また、挨拶をする時もお辞儀をしないとそっけないと思われたり、失礼な人に見られたりします。

もし、留学生が日本の習慣などを学ばないとするなら、日本にまで留学する必要がないと考えます。なぜなら、ただ単に日本語のスキルだけを学びたいのであれば、自国でも容易に学べる機会もあり、わざわざ日本にまで来るのはお金の無駄だからです。ただし、日本語の勉強だけで十分だと思っている人がいることも事実です。そのような人たちは概して日本語さえできれば、日本での生活が容易だとする考え方に立っているようです。確かに日本語のある程度理解出来れば生活に困らないと思いますが、果たしてそれだけで十分でしょうか。先述のとおり、誤解を生まないためにも日本の習慣やマナーを学ぶことは大切であると私は思います。

留学生の皆さん、日本語はもちろんのこと、日本の習慣やマナーもぜひ学んでみませんか？

「日本を出て驚いたこと」 橋本 若奈(日本)

私は昨年フィリピンのセブ島で短期語学留学の機会を得て、マンガウェシティの語学学校に4週間滞在しました。私はそこで初めてカルチャーショックを受けました。なんと、この町には信号と横断歩道がないのです。6車線もある道路を渡るには、タイミングを計り一気に渡るか、少しずつ渡らなければなりません。車は歩行者の為に止まってくれず、とても危険で恐ろしかったです。

さらに私が驚いたことは町中の警備体制です。ショッピングモールの入口では探知機を持った警備員が一人一人持ち物検査を行います。また、銀行や語学学校の前には警備員がわざわざ銃を見せるように持ち立っていました。街のあちこちに銃がある光景は異様に衝撃でした。他にも日本では経験したことのない状況がたくさんあり驚きの連続でした。

私はこれまでもアメリカやオーストラリアなどに行ったことがありますが、街の雰囲気や人柄など、なんとなく日本に近いものを感じ、カルチャーショックと感じませんでした。しかしセブ島では、私が当たり前と思っていた「横断歩道があること」「銃がないこと」…は当たり前ではありませんでした。

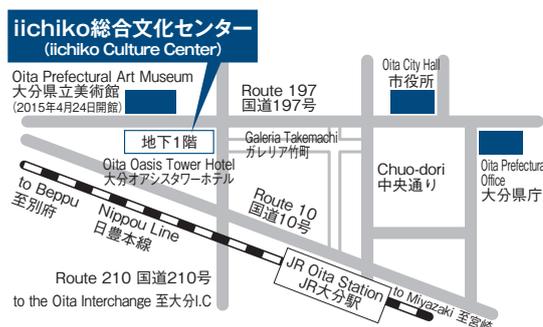
よく聞く「日本の当たり前は他の国での当たり前ではない。」という言葉。この言葉を実体験として如実に感じるとともに、自分のよく知る場所から飛び出すことで、もっと多くの新しい発見と経験が出来るという楽しさを知りました。

もし海外へ行くことに不安や戸惑いを感じている人がいるなら、私はこの貴重な体験を元に、声を大にして一歩踏み出すことを呼びかけたいです。

ジャーターカノン ニチャーラック(タイ)

おおい国際交流プラザより 『大盛況のおおい国際フェスタ！』

10月26日(日)、iichiko総合文化センターで「おおい国際フェスタ2014～世界をまるごと体験しよう!!～」を開催しました。今年は昨年よりもパワーアップ！盛りだくさんのステージパフォーマンスとともに会場はたくさんの人で終始大賑わい。民族衣装の試着、世界のおやつや文化の体験などたくさんの方々に「世界をまるごと体験」していただきました！ご来場の皆様、ありがとうございました。



おおい国際交流プラザ

La Estación ラ エスタシオン 2014 Vol.52

発行日 平成26年12月1日
 編集・発行 (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
 おおい国際交流プラザ
 〒870-0029 大分市高砂町2番33号 スペース ビー
 iichiko総合文化センター地下1階 iichiko Space Be内
 開館時間：9：30～19：00
 閉館日：日曜日・祝日及び第2・4月曜日とその週
 の土曜日 ※ただし閉館日が祝祭日の場合はその翌日
 TEL：097-533-4021 FAX：097-533-4052
 E-mail：in@emo.or.jp Twitter：@oitaplaza
 Facebook：おおい国際交流プラザ
 URL：http://www.oitaplaza.jp/